



すずらんだより

2024年11月

年中児のすずらん活動(小集団活動)の様子です。

今回は『ドンジャンケン』という遊びです。

【ルール理解】【周りの様子を見て自分の動きを考える】そういう力をつけながら、全員が遊びを楽しめるようにスモールステップで丁寧に活動を行って来ました。

① まずはジャンケンの理解度をチェック!
次に少し離れた場所から互いに掛け寄り、手を合わせ、「ドンジャンケンポン!」と、息を合わせてジャンケンをします。



ジャンケンが出来ず不安な子も、遊びの繰り返しで少しずつ自信が持てます。相手の動きを見て両手を合わせる事が出来るかも、発達チェックのポイント!

② 少し距離を延ばし実践!
勝敗の判断が難しい子のために保育士がフォロー。ルールの理解やゲームの楽しさを伝えます。



このゲームのポイントは「自分が負けても、勝つチャンスがある!」チームの友達がジャンケンに勝つことで逆転も可能。という所です。

その為に...「ジャンケンの勝敗を味方へ知らせる」「自分の前の友達が負けたらすぐにスタートする」事を意識しながら、順番や仲間を意識して遊びに参加する事が大切になります。

③ 4歳児全員がルールを把握出来た時期から、3クラス対抗で活動できるようになりました。チームの人数がだんだんと増えても、「楽しんで待つ」ことが出来るように!



「負けたから行っていいよ!!」「前に詰めて!」と、友達をフォローする言葉がたくさん聞けるようになってきたのもこの時期です。

活動始めは、「ジャンケンが出来ない」「順番が待てない」「勝敗を伝え忘れる」「負けたら怒る」等、遊びを楽しめる状況ではありませんでした。少人数で遊ぶことで、ルールを体感で覚えたり、自分が負けても友達が頑張ってくれる姿を少しずつ応援できるようになり、みんなで楽しめる遊びになりました。今では4歳児が戸外で3歳児に遊びを伝えられるようになっています。

